

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-507687(P2005-507687A)
【公表日】平成 17 年 3 月 24 日 (2005.3.24)
【年通号数】公開・登録公報 2005-012
【出願番号】特願 2003-531620(P2003-531620)
【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/07 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

A 6 1 B 5/07

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 26 日 (2004.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生体内センシング装置であって、
画像センサと、
磁界によって操作可能な少なくとも 1 つの要素とを含む、生体内センシング装置。

【請求項 2】

要素はコイルである、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

要素はダイポールを有する磁石である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

磁界によって操作可能な 3 つの要素を含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

外部受信ユニットにデータを無線で伝送するよう構成される送信機をさらに含む、
請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

データは、画像データ、生体内環境データ、位置データまたはこれらのいずれかの
組合せを含む群から選択される、請求項 5 に記載の装置。

【請求項 7】

要素は送受信機である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

生体内センシング装置における操縦可能な受信機であって、前記受信機は磁界によ
って操作可能な少なくとも 1 つの要素を含む、操縦可能な受信機。

【請求項 9】

生体内の装置を操作するためのシステムであって、
センシング装置を含み、前記センシング装置は、磁界によって操作可能な少なくとも 1
つの要素を含み、前記システムはさらに、
要素を操作する少なくとも 1 つの信号を生成するよう構成される信号源を含む、システ
ム。

【請求項 10】

外部受信機をさらに含む、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 11】

センシング装置は画像センサをさらに含む、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 12】

信号源は変動電磁界発生器である、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 13】

センシング装置は送信機を含む、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 14】

送信機は少なくとも位置信号を伝送するよう構成される、請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 15】

センシング装置の場所または位置を計算するよう構成された処理ユニットをさらに含む、請求項 9 に記載のシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

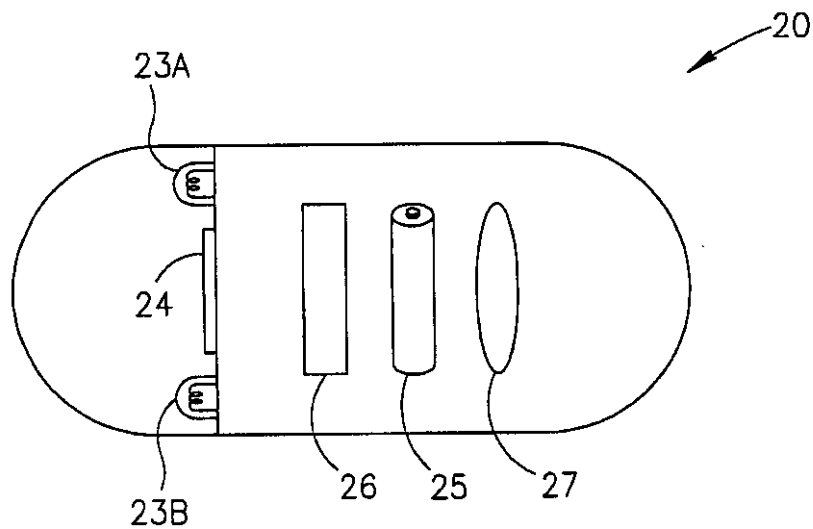


FIG.2